

## 「きょういく・さど」の発行に寄せて

佐渡市教育委員会 教育長 渡邊剛忠

佐渡市の教育活動の充実を目指して、このたび「きょういく・さど」が発行されることになりました。新しい情報や課題の情報等が共有できるものとして期待されるところです。

連日、教育に関わる報道に目が離せません。教育再生会議の「子育て」提言や「道徳の教科化」の提言、そして断念、「教育三法案」の衆議院教育再生特別委員会でのやりとり、本会議の通過、時を同じく発生した福島県の高校三年生の母親殺害事件、その異常さに「生徒のこころが読めないとする」多くの教育関係者のコメントに今の教育の問題点や課題、困難さが潜んでいるように思われます。

先日、書斎の机を整理していたとき、中学校の卒業式で先生から書いてもらった色紙を見つけました。

「良く食べ 良く寝 良く学び」

腕白に過ごした当時の生活が懐かしく思い出されました。鎮守の森で三角ベースの野球をして思い切り遊んだこと、科学部の顧問の先生と野外調査によく出かけたこと、自分で勉強しても解らないことを放課後遅くまで先生に質問して困らせたこと、郡内の野球大会で決勝戦で負けて仲間と悔し涙を流したこと等々、毎日、朝、昼、晩きちんと食べて、ほどよい疲労感の中で深い睡眠をとっていたように思います。

子供を取りまく環境が大きく変わってきた今、当時のような生活は望めないとしても子供たちが心身共に健やかに成長するために不易とされる課題（発達課題）をしっかりと見据えていきたいものです。

我が家の納屋のつばめ夫婦も、いくつもある古巣の一つを改修して卵を抱き始めました。梅雨の頃一回目の子育てが始まります。毎年学ぶことが多いつばめたちの子育てにも目が離せない毎日です。



## 平成19年度佐渡市学校教育の重点

総合学習センター長 臼杵 國男

佐渡市学校教育基本構想で示す基本的考え方を基に、学校教育の基本目標を「確かな学力を身につけ 夢と誇りをもって 自立する人づくり」とし、重点事項の実現に向けて事業を展開します。先般の小中校長会でその施策概要を提示したところです。

第1に、意欲をもち確かな学力を付ける教育の充実では、自ら学ぶ意欲をもち、学力の向上を図る教育の推進を目指して、中学校区単位の計画訪問により相互に高め合う教育システムを構築し、授業改善を推進します。

さらに、かかわりを通して、豊かな心を育成する教育の推進を目指して、いじめの根絶と不登校解消のために、小中連携の進め方、社会性の育成、児童生徒理解に関する実践的指導力の向上を図ります。

第2に、郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実では、佐渡の自然、歴史、文化を学ぶ教育の推進を目指して、佐渡固有の自然、歴史、文化に関して、児童生徒に伝えたい・残したい・考えさせたい佐渡を学ぶ学習内容(佐渡学)のカリキュラム開発を図るとともに、地域に根ざした特色ある総合学習活動の展開を支援します。

第3に、生きがいを見付け、自立を目指す教育の充実では、望ましい職業観をはぐくむ教育の推進を目指して、児童生徒が将来の生き方や進路の選択に関心をもち、自分らしく充実した人生を築くために、職業観や勤労観をはぐくむキャリア教育の普及を図ります。

第4に、学校教育の基盤整備と充実では、学校施設の整備と充実を目指して、学校教育整備検討委員会の答申を基に、適正規模を目指した学校統合を推進するとともに、学校教職員の資質向上を図るために、佐渡総合教育センターの研修基盤を整備し、教師の資質や指導力を高める研修の充実と各校の校内研修を支援します。

## 中学校区訪問に向けて

指導主事 川上 治男

組織マネジメントの考えに基づく学校評価を活用して、地域に信頼される特色ある学校づくりを推進できるように、佐渡市教育委員会では、下越教育事務所とともに、中学校区訪問を行います。

具体的には、次の4つが大切になります。

教職員一人一人がマネジメント能力や参画意識を高める学校評価となるよう、学校評価に取り組む組織等を一層工夫すること

教職員一人一人が主体的に取り組めるまで目標を具体化したり、授業改善に向けたPDCAサイクルを定着させたりすること

近隣の学校同士が共通評価項目についての取組の妥当性・有効性を検討したり、具体策を共有したりして、磨き合い高め合う取組を一層推進すること

自己評価の客観性を高めるために、保護者、地域住民、学校評議員等による外部からの評価を積極的に取り入れること

18年度は、全ての学校で、グランドデザイン等に目指す児童生徒の姿や目標とする数値等が記載されていました。また、保護者や地域の人々に分かりやすく説明していました。さらに、自己評価や外部評価の結果を公表したり、共通評価項目それぞれについて、評価基準に基づき、目標の達成状況を評価していました。各学校での様々な取組、大変ありがとうございました。

今年度は、教職員一人一人が、「取組の手ごたえ」を一層もてるよう、次のことに工夫・改善に努めてくださるようお願いいたします。

小さなPDCAサイクルが機能するよう子どもの姿に照らして、取組の効果の検討の場を設定するとともに、教育活動、運営活動をより具体化して取り組むこと  
教員一人一人の実践が学校全体の取組に生きるよう、ミドルリーダーの役割を明確にして協働性を高める取組を一層推進すること

## 各自が自覚して、非違行為の撲滅を

戒告で20～30万円以上減収！

管理主事 高野 榮

昨平成18年度新潟県教育委員会は非違行為撲滅キャンペーンを実施しました。しかし残念ながら、懲戒処分者がゼロにはなりませんでした。

非違行為の中で多いのが信用失墜行為、スピード超過運転です。一般道で30km/h以上のスピード超過で懲戒処分として戒告を受けます。本人ばかりでなく、校長や教育長が教育事務所に出席し各人が申立をしなければなりません。また、履歴書にも記録を残すこととなりますし、勤勉手当が20～30万円減額されます。昇給も延伸になります。



ちょっとした不注意で周囲に甚大な迷惑をかけ、本人も大きな損害を被るのです。各自が自覚し、綱紀の保持を心がけ、非違行為を根絶しましょう。

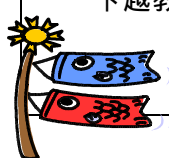
## 紹介します！よろしくお願ひします

昨年度末の下越教育事務所佐渡出張所の閉所に伴い、今年度から下越教育事務所の佐渡市担当指導主事2名が学校教育課に駐在し、支援業務に当たっています。主に総合教育センター業務と生徒指導業務に当たっています。

### 下越教育事務所学校支援第1課

指導主事 浜田 尚

指導主事 原 功 治



学校教育課の広報誌「きょういく・さど」を発行することになりました。計画では、各学期2回程度発行する予定です。限られた誌面ですが、いろいろな角度から教育情報を発信したいと考えています。発行方法はメール配信で行います。発行を重ね、よりよい広報誌にしたいと思っております。どうぞ、お気軽に、お気づきの点やご意見をお聞かせください。  
(学校教育課：担当まで)